

材料の発明:特許出願だけが戦略ではない。製造法の発明:ブラックボックス化だけが戦略ではない。
出願するか、ブラックボックス化するかの判断フローを複数の視点を絡めて解説します。



自社技術のブラックボックス化と特許出願の選択基準およびノウハウ管理法

～特許出願と営業秘密ではどちらが得か？ 技術漏洩対策は講じられるのか？～

日時	2017年1月26日(木) 12:30～16:30	会場	東京・品川区大井町 きゅりあん 4F 第1特別講習室
受講料	43,200円 → 講師紹介割引 21,600円 (通常受講料の半額) (本体20,000円+税1,600円)		資料付

講師 Kyoshin技術戦略研究所 代表 / ソナーレ特許事務所 パートナー弁理士 高橋 政治 氏

趣旨

製造方法の発明は他社の侵害行為を見つけ難いため、特許出願せずに技術的な営業秘密としてブラックボックス化(ノウハウ秘匿)するべきでしょうか？ 一方で、物の発明は全て特許出願するべきでしょうか？ 例えば、自社がその市場において先発であれば、物の発明であってもノウハウとして秘匿したほうが良い場合があります。逆に、自社がその市場において後発であれば、製造方法の発明であっても特許出願し、特許権を取得して、先発の会社に対抗するための武器を持つべきとも考えられます。また、例えば、その発明がコア技術であるか、周辺技術であるかによっても、特許出願すべきか否かの選択に影響するでしょう。

技術開発/研究開発の結果である発明を特許出願するか、営業秘密としてブラックボックス化(ノウハウ秘匿)するかの選択は、経営戦略に直結し、適切な選択を行えば自社に莫大な利益をもたらす可能性があります。逆に、その選択を間違えば、単に競合他社へ自社技術を公開してしまうだけになりかねません。この選択を適切に行うためには、複数の観点を組み合わせて、総合的に判断するための自社独自の選択基準を構築する必要があります。また、ノウハウ秘匿と特許出願の選択を適切に行えば、結果的に無駄な特許出願を排除できます。特許出願件数を1500件/年→800件/年に抑制できた企業もあります。

本セミナーでは、技術的な営業秘密としてブラックボックス化(ノウハウ秘匿)するか、特許出願するかを選択基準を解説します。また、その選択を適切に行うためのシステム(社内体制)を社内に構築することが極めて重要ですので、そのポイントを解説します。さらに、ノウハウが漏洩した場合の救済措置(不正競争防止法)や先使用权についても解説します。

プログラム

- 概要 ～特許出願だけではなく、技術開発・研究開発成果の扱い方～
 - 1.1 自社技術のブラックボックス化とは何か
 - 1.2 ブラックボックス化した場合のメリット
 - 1.3 ブラックボックス化によって莫大な利益が得られるパターン
 - 1.4 ブラックボックス化した場合に生じるリスク
 - 1.5 ブラックボックス化するために必要なこと
- ブラックボックス化するか否かの判断基準 (オープン&クローズの分岐点について、重要となる8つの視点を中心に解説)
- ブラックボックス化に必要な社内体制
 - 3.1 特許検討の場
 - 3.2 教育体制
 - 3.3 退職者対策(秘密保持契約と競業避止義務契約)
 - 3.4 職務発明制度の改良
- ブラックボックス化した自社技術について 他社が特許権を取得した場合への備え
 - 4.1先使用权とは何か
 - 4.2先使用权の理論と問題点
 - 4.3先使用权を立証するための資料
 - 4.4実例
- 技術漏洩した場合の救済措置
 - 5.1 最近の事例
 - 5.2 どのような場合に不競法によって救済されるのか
 - 5.3 救済を阻むもの

質疑応答・名刺交換口

※講師、プログラムの内容が変更になる場合もございます。最新の情報はHPにてご確認ください。※申込用紙が複数枚必要な場合等は、本用紙をコピーしてお使いください。

セミナー申込用紙	B170176 (特許性判断)	講師紹介割引	DM
----------	-----------------	--------	----

会社名 団体名			
部署			
役職	〒		
ふりがな	住所		
氏名			
TEL	FAX		
E-mail	※申込みに関する連絡に使用するため、可能な限りご記入ください。		

※太枠の中をご記入下さい。※□にチェックをご記入ください。
※E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。

<p>今後のご案内</p> <p><input type="checkbox"/> E-mail希望・登録済み</p> <p><input type="checkbox"/> 郵送希望・登録済み</p> <p><input type="checkbox"/> 希望しない</p>
<p>お支払方法</p> <p><input type="checkbox"/> 銀行振込 (振込予定日 月 日)</p> <p><input type="checkbox"/> 当日現金払い</p>
<p>通信欄</p>

●受講料について
特別割引用紙のため、他の割引との併用はできません。
●お申込みについて
申込用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込みください。
また、当社ホームページからでもお申込みいただけます。
お申込みを確認次第、請求書・受講券・会場案内図をお送りします。
●お支払いについて
受講料は、銀行振込(原則として開催日まで)、もしくは当日現金にてお支払いください。
銀行振込の場合、原則として領収書の発行はいたしません。
振込手数料はお客様が負担ください。

●個人情報の取り扱いについて
ご記入いただいた個人情報は、事務連絡・発送の他、情報案内等に使用いたします。
詳しくはホームページをご覧ください。
※ご注意※
●お申込み後はキャンセルできません。
●都合が悪くなった場合は代理の方がご出席ください。
●参加者が最少催行人数に達しない場合など、事情により中止になる場合がございます。

サイエンス & テクノロジー
研究・技術・事業開発のためのセミナー/書籍
サイエンス&テクノロジー株式会社
TEL 03-5733-4188 FAX 03-5733-4187
〒105-0013
東京都港区浜松町1-2-12 浜松町F-1ビル7F
http://www.science-t.com